

STAGE+を楽しむ(143)(HP 収載)  
—ムターのシベリウスのヴァイオリン協奏曲—

1. 始めに

前報(142)に引き続き、STAGE+のムターのシベリウスのヴァイオリン協奏曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ムターのシベリウスのヴァイオリン協奏曲の演奏を選びました。

収録日: 2015年3月5日

ムターによるシベリウスの協奏曲といえば、アンドレ・プレヴィンとの対話から生まれたシュターツカペレ・ドレスデンによる1995年の初録音盤CDの密度の高い演奏も忘れがたいのですが、2015年にネルソンスの指揮でロイヤル・コンサートヘボウと本拠地で行ったコンサートのライブ映像も鮮烈です。ぜひ、アンコールのバッハのパルティータと共に、情感のこもったストラディヴァリウスの音色を心ゆくまでお楽しみください。もちろん後半には、ネルソンスが得意とするショスタコーヴィチの第10番も控えておりますのでお聴き逃しなく。ちょうどドイツ・グラモフォンでボストン交響楽団と交響曲の全曲録音シリーズをスタートさせる直前の、注目の演奏です。

ソリスト:

アンネ=ゾフィー・ムター (ヴァイオリン)

演奏:

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団

指揮:

アンドリス・ネルソンス

曲目:

ジャン・シベリウス ヴァイオリン協奏曲ニ短調 op. 47

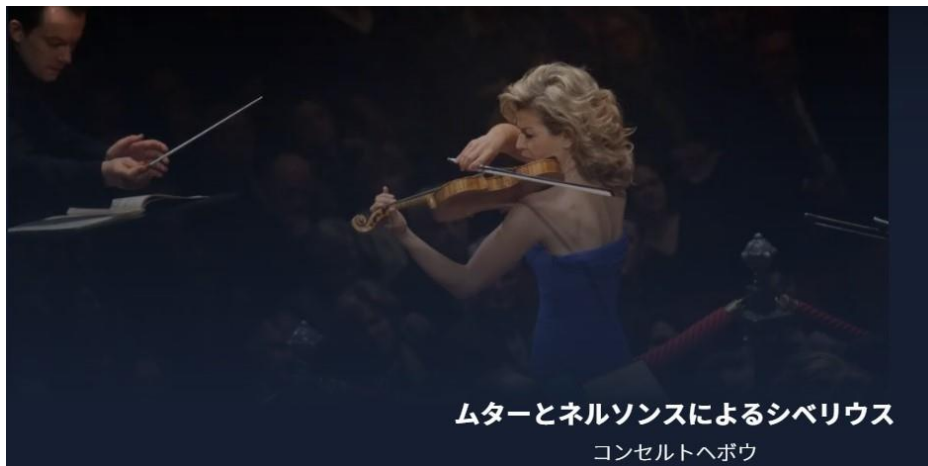
アンネ=ゾフィー・ムター(ヴァイオリン)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調 BWV 1004 より  
第4曲 : Gigue

アンネ=ゾフィー・ムター(ヴァイオリン)

ドミトリ・ショスタコーヴィチ 交響曲第10番ホ短調 op. 93



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーター に対するCDクリーナーの処理を行っています。今回、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンプ端子を装着しています。

シベリウスのヴァイオリン協奏曲は、ムターの卓越した技量とヴァイオリンの艶のある音色が聴きどころです。

アンコール曲のバッハの無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番のGigueは、ムターのボウイングの確かさに加えて、ホールに響く残響がライブ感を伝えてくれます。

ショスタコーヴィチの交響曲第10番は、重々しい低音や切り裂くような金管など、ショスタコーヴィチらしい複雑な音の構成が重厚かつ華麗に表現されており、このホールの音響特性がよく分かります。

同じ演奏での1:1の比較はできませんが、コンセルトヘボウのHPの配信サイトであるCONCERTGEBOUWORKESTより、このSTAGE+の配信の方の音質がまさっています。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、LANポートにフェルトダンブ端子を装着したことで、ムターのヴァイオリンの音色と演奏技量およびネルソンス指揮ロイヤル・コンサートヘボウの重厚かつ華麗なオーケストラの響きが表現されています。

以上